



2018年4月10日 No.16
 全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2018年春闘・月間推進ニュース

トラックの仲間たちに幅広く宣伝!

4/6全国統一行動 PAやSAで対話

4月6日、全国トラック部会は、全国各地で春闘勝利と組織拡大の宣伝、そして、9条改憲NO! 3,000万人署名をはじめとした統一行動にとりくみました。

当日(6日)は、未明からの激しい雨に見舞われ、とりくみを延期せざるを得ない地域もありましたが、東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・兵庫・長崎・鹿児島で実施し、その他の日程では、5日京都・7日愛知・9日新潟で実施されました。

<兵庫>

兵庫県トラック部会は、4月6日大荒れの天候が予想されるなか第二神明・明石PA(上下線)にて11時から大粒の雨が降る12:45分まで、新しいトラック部会のビラ入りティッシュの配布と戦争法阻止3000万署名に取り組みました。

参加は12名(関西合同支部6名、兵庫合同支部4名、関西支部1名、テーエス支部1名)で、ティッシュ約600枚と署名41筆(31筆=関西合同支部、10筆=兵庫合同支部)でした。



<東京>

東京トラック部会は、朝7時から平和島流通団地前と品川駅港南口にて7人の参加で実施し、ビラ入りティッシュを1,000部配布しました。



<埼玉>

埼玉トラック部会の仲間8人で、JR南越谷駅前および越谷流通団地前で宣伝行動にとりくみました。

2ヶ所の宣伝と草加松原団地で

トラック部会作成のチラシ1,000部と建交労の春闘チラシを500枚配布・ポスティングしました。



<愛知>

愛知トラック部会では、4人の参加し、計3ヶ所（上郷SA・道の駅にしお等）で約300枚のビラを配布しました。また、宣伝カーの運行では、流しテープを使い約60kmを走行しました。

<神奈川>

神奈川県南支部は、建交労全国トラック部会「4.6 全国いっせい宣伝行動日」に神奈川県大和市内にある東神トラックステーションで、トラック運転手を対象に宣伝・対話・署名行動にとりくみました。この日の行動には、神奈川県本部から高橋英晴書記長、県南支部では佐藤章委員長をはじめ9名が東神TSでの宣伝・対話・署名行動に参加した仲間参加、全体では10名のとりくみとなりました。

しかし、東神TSのサービス施設は工事中のため運転手はほとんど車外に出ることなく宣伝には不向きな状態でした。それでも20人のドライバーと対話ができ低賃金や長時間労働など、トラック労働の相変わらずの実態が明らかになりました。

<大阪>

大阪トラック部会は、吹田SAの上下線において春闘組織拡大宣伝と安倍9条改憲NO! 3,000万人統一署名にとりくみました。午前の行動には計14人が参加し、署名53筆、ビラ入りティッシュ600部を配布しました。



午後からは、東大阪トラックターミナルにおいて、組織拡大宣伝を12人でおこない、トラック部会スポット原稿による宣伝でビラ入りティッシュを100部配布しました。



<静岡>

静岡トラック部会では、4人の参加で静岡市・焼津市・藤枝市・大井川町を中心に流しテープで宣伝カーの運行をおこないました。当日は雨天のため、ビラの配布はできませんでしたが、後日浜松トラックステーションに置いてもらうよう準備しています。

<長崎>

長崎県トラック部会の活動は、4月5日に長崎市内（2人参加）、6日にトラックステーション周辺（2人参加）で宣伝カーの運行をおこない、7日にはオイルターミナルでのピラ配り（2人参加）の計3日間を通して宣伝行動を実施しました。

<京都>

京都トラック部会は、総勢16人の参加で桂川・草津・大津等5ヶ所で宣伝行動を実施しました。

3月~4月春の組合員拡大月間

全国大会以降の拡大報告は681人に到達

3月~4月春の組合員拡大月間は、全国の仲間が奮闘し、4月10日現在124人（新結成1組織2人、組織内8組織122人）となりました。第19回大会以降では681人（新結成13組織24人、組織内121組織657人）に到達しています。しかし、拡大の成果を挙げているのは組織全体の1割強にとどまっています。拡大で成果を挙げる組織を2割~3割に引き上げていく為の努力、工夫が各県本部・支部・分会に求められています。また、各業種部会による働きかけも必要です。この間、「トラック、ダンプ、労職」の3業種が組織拡大の中心となっており、要求闘争・各種相談活動など部会のとりのくみが大きな役割を果たしています。

組織拡大を前進させる為のポイントは、①対象者（職場・地域）の明確化、②対象者の要求の掌握（春闘、共済制度、各種相談）、③拡大行動に決起する仲間の多数派形成（機関会議、各人との対話活動）、④具体的な行動の計画と実施（宣伝行動、対象者との対話・訪問活動）など、各組織の執行部・組織建設推進委員が議論し、様々な課題をとりくむ中でも実践することが大切です。

拡大月間は残り20日間を切っていますが、月間終了後も組合員拡大を日常的に追求する為に機関会議で必ず意思統一をしましょう。

組織拡大の成果は必ず中央本部へ報告してください。また、増減は少なくとも月1回はデータベースに入力するようくり返し、組織内に周知してください。

2017年度9月～ 組織拡大数		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
新結成	組織数	2	0	5	1	2	2	1	0	13
	拡大人数	7	0	10	1	2	2	2	0	24
組織内	全体組織数	23	45	37	35	31	30	32	5	238
	組織数(重複除く)	23	34	17	17	13	9	6	2	121
	拡大人数	57	82	78	96	110	112	87	35	657
組合員拡大合計人数		64	82	88	97	112	114	89	35	681